

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		史跡公園等管理事業		担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	3733	
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務				
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等					
	小項目	2	観光資源の整備と活用							
	主要プロジェクト	0	(未使用)							
事業概要		市内にある史跡公園等の設備修繕、清掃等を行い、施設を適切に管理することを目的とする。								
目的 ※何のために		深谷市の自然や文化を観光資源として活用するため								
対象 ※誰・何を対象に		史跡公園、来場者								
手段 ※どのように		施設・設備の保守、修繕、各種媒体による情報発信								
成果 ※何を求めるか		来場者の事故や苦情の出ない施設とすることができる								
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他( )								
事務事業を 構成する 予算事業		区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額(円)
		一般会計	7	商工費	1	商工費	2	商工業振興費	史跡公園等管理事業	2,345,957
本事業の 主な業務		・重忠公園の管理							・	
		・鶯の瀬公園の管理							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	
		・							・	

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
年度別計画		重忠公園の管理鶯の瀬公園の管理	重忠公園の管理鶯の瀬公園の管理	重忠公園の管理鶯の瀬公園の管理	重忠公園の管理鶯の瀬公園の管理	重忠公園の管理鶯の瀬公園の管理	重忠公園の管理鶯の瀬公園の管理	
事業費	予算（現額）	764, 000	526, 000	893, 000	2, 358, 000	2, 442, 000	712, 000	
	決算額	561, 123	474, 992	825, 009	2, 314, 434	2, 345, 957	0	
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0
		他特定財源	166, 733	283, 958	291, 194	292, 419	295, 298	273, 000
		一般財源	394, 390	191, 034	533, 815	2, 022, 015	2, 050, 659	439, 000
人件費	従事職員数（人）	0. 47	0. 52	0. 48	0. 60	0. 80	0. 55	
	人件費相当試算※	3, 656, 130	4, 046, 640	3, 890, 400	4, 881, 600	6, 209, 532	4, 472, 241	
総事業費試算		4, 217, 253	4, 521, 632	4, 715, 409	7, 196, 034	8, 555, 489	5, 184, 241	

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
	実績値									
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
活動指標 1	管理対象施設数	目標値	施設	0	2	2	2	2	2	
		実績値		2	2	2	2	2	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		現状の管理対象施設数を目標値とする。 / 当該年度末日実績数							
	実績値の算出式									
活動指標 2	施設設備の修繕件数	目標値	件							
		実績値		1	1	2	3	3	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		発生件数が予測できないため、目標値を設定できない。 / 当該年度末日実績数							
	実績値の算出式									
成果指標 1	来場者の事故発生件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		管理の瑕疵による事故0を目指す。 / 業務安定システム事務処理対応表							
	実績値の算出式									
成果指標 2	来場者からの苦情発生件数	目標値	件	0	0	0	0	0	0	
		実績値		0	0	0	0	0	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所		業務の不適合といえる苦情の発生を0とする。 / 業務安定システム事務処理対応表							
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									
		目標値								
		実績値								
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。  
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。  
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。  
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	A	令和4年1月から放送される大河ドラマ『鎌倉殿の13人』に畠山重忠が登場することから、来場者の増加が見込まれるため、トイレの修繕と駐車場の区画線の修繕を行った。これにより、施設の適正な管理が行えた。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	適切な施設管理により、来場者の事故及び苦情はなかった。
			評価者 観光物産係長 飯塚 大悟

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。  
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	職員が常駐する施設ではないが、地元の『畠山重忠公顕彰会』に施設全般の清掃等管理を委託し、トイレ清掃をシルバー人材センターに委託し、効率化を図っている。
			評価者 観光物産係長 飯塚 大悟

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	
達成状況及び その効果	

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	史跡公園等管理事業	担当課	商工振興課	担当係	観光物産係	管理番号	3733
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明 この事業では、畠山重忠公史跡公園と鷺の瀬公園の2つの施設を管理している。大河ドラマに畠山重忠が登場することから来訪者が増加することが予想される。特に、史跡公園はトイレの利用者が多く、突発的な修繕が発生することも多い。日頃から定期点検に努め、適正な管理をしていく。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	商工振興課長 岩田展雄				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	

8. 評価指標グラフ

